

参加無料

要申込



東京の元気をつくる
まちづくりのヒントが見つかる！

東京ホームタウン大学

\ 年に1日の開校！ /

2019



2025年に向けた、東京の宿題とは？

日本が本格的な超高齢社会を迎える2025年まであと6年。「いくつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる」を合言葉に、人と人がつながり、安心して暮らせる地域づくりを応援する東京ホームタウンプロジェクトが、1日限りの「大学」を開校します。

これまでに延べ1500人あまりが来場したこのイベントに、あなたも出かけてみませんか？

今年度も、ユニークで活発な地域づくりに取り組む都内約20のNPO・地域団体がその活動を共有します。

2019
2/23 土

13:00～18:00 (開場12:30)

場所 津田塾大学 千駄ヶ谷キャンパス

JR 千駄ヶ谷駅・地下鉄国立競技場駅徒歩1分 (▶地図裏面)

- 対象**
- 地域福祉の活動に取り組むNPO・地域団体の方
 - 地域貢献活動に関心を持つ企業・団体・個人の方
 - 社会福祉協議会・行政関係者

定員 450名

※基調講義・総括講義は300名を超えた場合、ホールに隣接する別室での大型モニター視聴となります。(当日先着順)

※分科会の定員は各テーマで異なります。

主催 東京都福祉保健局

1 限目

基調講義

「人と人とのつながりが元気なまちをつくる
～最新フレイル予防の視点から見る地域活動の意義～」

飯島勝矢氏を招き、健康長寿に深く関わる地域活動の意義、人と人とのつながりの重要性について伺います。



< 1・3 限目登壇 >

飯島 勝矢 氏

東京大学高齢社会総合研究機構教授／医師／医学博士
専門は老年医学、老年学。
著書に「東大が調べてわかった衰えない人の生活習慣」など

2 限目

テーマ別分科会

居場所づくり、介護予防、多世代交流、高齢者の社会参加など、地域福祉の各テーマで活動中の団体を招き、みなさんと共に考えていきます。



3 限目

総括講義

「会社から地域へ」私のライフシフト」

飯島勝矢氏とともに、内多勝康氏をはじめとした地域で活躍するライフシフト実践者の方々を迎え、お話をしていきます。

< 3 限目登壇 >

内多 勝康 氏

国立成育医療研究センター「もみじの家」
ハウスマネージャー／社会福祉士
アナウンサーとして2016年までNHKに勤める

